

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市宮城野児童館		
2 指定管理者	社会福祉法人宮城厚生福祉会		
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年度 29,434人（前年度比 110.0%）</li> <li>・ 令和2年度 26,755人</li> <li>・ 令和元年度 32,359人</li> </ul>		
5 収支の状況	《事業》		
	・ 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業		
	《費用》 ( )は前年度決算額		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者に支払った費用 49,834千円 (44,299千円)</li> <li>・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)</li> </ul>		
6 利用者の声	《実施状況》		
	・ 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。		

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

### 三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人宮城厚生福祉会）による自己評価》
<p>前年度に引き続きコロナ禍の中、児童館の運営も仙台市の指示を受けながら感染拡大防止を大前提としてのものとなった。自由来館が断続的に休止となったこともあり、児童館の主たる4事業の中でも今年度は、放課後児童健全育成事業を充実させた。子どもたちの日常生活でもいろいろな制限がかかる中、宮城野児童館では、子どもたちの自由遊びを大切にしてきた。また、「子ども会議」「上学年委員会」「みんなの声」などを通して、子どもたちが児童館運営に参画できる仕組みを工夫してきた。このことは、自分たちのアイデアや要望がお楽しみ会や企画行事として実現したり、本やおもちゃの充実に繋がったりして、更なる活動意欲へと繋がっている。それは同時に、子どもたちの活動を支援する職員の喜びともなっていた。土曜の自由来館ができるようになってからは、映画や囲碁教室を楽しみに小中学生が来館した。その中でジュニアリーダーの活動を紹介してくれた中学生の要望をもとに次年度活躍の場を提供することとした。</p> <p>子育て家庭支援事業は、自由来館が可能になった時期を縫って実施した。登録制の2つの幼児クラブでは、名札づくりやわらべ歌、公園への散歩、クリスマス会などが行われ、多くの親子に楽しんでもらった。これらの活動には、運営母体を同じくする保育士に毎回参加してもらい、遊びを支えてもらった。一緒に遊びながら子育て相談になることもあり、その後その要望を活かし「子育てサロン」として気軽なおしゃべりの場となった。地域交流としての行事はできなかったものの、囲碁や読み聞かせなどボランティアの助けを受けての活動が戻りつつある。また、本や紙飛行機をもって児童館を訪ねてくれた近所の方と一緒に遊ぶことができた。このような地域の支えを次年度につなげていきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置等の発令があったが、児童クラブに関しては、年間通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部は休止としていたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、地域ボランティアの協力をいただきながら毎週土曜日に「囲碁教室」を開催している。中学生も継続的に参加しており、地域に根差した取り組みとなっている。中学生のジュニアリーダーが来館しての活動紹介を受けて、次年度はコロナ禍を踏まえながら活動の場を提供する企画も予定されており期待される。</p> <p>地域交流推進事業においては、隣接する高校生が学びを生かした形でのボランティアとして参加したり、児童の作品を老人施設に送るなど、間接的ながらも交流を続けている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、幼児クラブを月に2回開催し、連携施設の保育士が毎回参加して遊びの提供や保護者の相談に応えた。その中で聞かれた保護者からの要望を受けて、気軽に話ができる「子育てサロン」を新たに開催するなど、ニーズを捉え安心して子育てができる環境作りに努めており好評を得ている。</p> <p>放課後児童健全育成においては、図書や玩具の購入時にアンケートを取ったり、ご意見箱を「みんなのこえ」として児童の意見も発信できるツールとして活用している。意見交換の場として「子ども会議」や「上学年子ども委員会」を開催し、子ども達自身で課題解決や行事の企画運営できる支援を行い子どもの自主性や社会性を育てている。</p>	S

#### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課